

1 サービス概要

DNS は、お客様ドメイン名の DNS サーバーをお客様自身で設定、管理ができるクラウドサービスです。

GSLB は大規模なアクセス負荷、災害、障害などによりお客様メインサイトに影響があった場合、お客様メインサイトの広域負荷分散、またはバックアップサイトや Sorry サーバーへ切り替えることで、ダウンタイムの影響を最小限に抑えることが可能です。

DNS および GSLB サービス（以下、本サービス）はともに国内 3 拠点に分散配置することで冗長化対策が取られています。

1.1 サービス提供内容

本サービスは、以下の機能により構成されます。

タイプ	種別	項目	内容
基本サービス	DNS ^{*1}	ゾーン/レコード 情報管理	ドメインのゾーン情報の認証、設定、管理及びレコード の設定、管理が可能
		テンプレート情報管理	登録されたゾーン情報を、テンプレートとして設定、管 理が可能
	GSLB ^{*2}	負荷分散	複数拠点のサーバー間での負荷分散及びヘルスチェッ ク結果に連動した複数サーバー間での切り離し、切り 戻しの実施が可能
	API	サービス管理	外部プログラムから API 経由で DNS/GSLB を柔軟に コントロール可能

*1: ドメイン名の取得・管理は含まれません。

*2: GSLB サービスは、DNS サービスのご利用が必須となります。

1.2 サービス料金

種別	項目	料金（税抜） ^{*1}
DNS ^{*2}	1 ゾーン	¥50（月額）
GSLB ^{*3}	1 レコード	¥250（月額）

*1: 本サービスは日割計算の対象外になります。

*2: ゾーンを作成して 24 時間を超えた時点で課金開始となります。この際ゾーン未認証の場合でも同様に課金が始まります。

*3: レコードの重み付け設定をした時点で課金開始となります。ただし、ゾーン未認証の場合、又は初回ゾーン作成から 24 時間以内は、GSLB サービスの課金対象外となります。

2 サービス仕様

2.1 DNS

お客様ドメイン名のゾーン情報に関する DNS サーバーをお客様自身で設定、管理ができるサービスです。

項目	内容
システム構成	国内 3 拠点に分散配置
DNS 種別	権威 DNS サーバー (プライマリ DNS)
公開 DNS ホスト情報 ^{*1}	ns01.idcfcloud.com ns02.idcfcloud.com ns03.idcfcloud.com

*1: ドメインレジストラへのご登録は、必ず上記 FQDN 形式でお願いいたします。（DNS の IP アドレスは将来的に、事前予告なく変更の可能性がります。）

2.1.1 ゾーン^{*1}/レコード^{*2}情報

項目	提供条件
管理可能レコード	A,AAAA,CNAME,ALIAS ^{*3} ,TXT,MX,SRV,CAA,PTR ^{*4} ,NS ^{*5} ,SOA ^{*6}
TTL (キャッシュ有効期間)	600~86400 (秒) ^{*7}
ゾーン名登録可能文字数	251 文字以内 ラベル名 63 文字以内、ゾーン名全体で 251 文字以内
ゾーン名登録可能文字	半角英数字、半角ハイフン、ピリオド。半角ハイフンはラベルの先頭と末尾には使用不可
ゾーン管理可能ドメイン	(別紙 1) 参照 http://www.idcf.jp/cloud/pdf/dns/dns_domain.pdf

*1: 登録可能なゾーン名形式は FQDN 形式となります。

*2: レコード情報詳細は (別紙 1) レコード情報一覧をご参照ください。

*3: ALIAS レコードには、インフィニット LB、CDN の FQDN のみ指定可能です。

*4: 同一アカウント内の IDCf クラウドで割り当てられている IP アドレスの逆引きのみ変更可能です。また PTR レコードの TTL は 3600 で固定となります。

5: NS レコードには RFC2606 で予約されているトップレベルドメイン、.local、IDCF クラウド DNS の権威 DNS、*.dns-verify.idc.jp、および委任先の DNS に対象ドメインの SOA レコードが存在しない物は登録できません。また、ゾーン作成時に初期設定される IDCf クラウド DNS の権威 DNS については削除対象外となります。

*6: SOA レコードはメールアドレス、ネガティブキャッシュ TTL のみ変更が可能です。ネガティブキャッシュ TTL の設定可能範囲は 600 ~86400 です。

*7: GSLB 利用レコードのみ 5~86400 の値を設定可能です。

2.1.2 バルクインポート

項目	内容
バルクインポート	作成済みゾーンに対し BIND 形式のゾーンファイルのインポートやテキスト入力によるレコード一括登録が可能

2.1.3 テンプレート

項目	内容
テンプレート	作成済みゾーン情報からのテンプレート作成、又はテンプレートの新規作成が可能

2.1.4 リソース上限値

項目	上限値	説明
ゾーン	100	1 アカウント毎の最大登録数
レコード	100	1 ゾーン毎の最大登録数
テンプレート	10	1 アカウント毎の最大登録数

2.2 GSLB

項目		内容	
システム構成		ヘルスチェックサーバー 国内 3 拠点に分散配置	
登録可能レコード		A、CNAME	
重み付け設定	指定可能範囲	0～10 の整数値	
	応答仕様	正常時は 0 以外が設定されたレコードを、重み付けに従い応答します。ただし、0 以外が設定された全てのレコードで異常検知した場合、0 が設定されたレコードを応答します。 重み付け設定値がすべて 0 の場合以下の応答となります。 A レコード：クエリに対して全レコードが応答 CNAME レコード：クエリに対していずれかひとつのレコードが応答	
ヘルスチェック ^{*1}	ヘルスチェック対象レコード	A	お客様が指定する任意の IP アドレス
		CNAME	IDCF クラウドの同一アカウント内で使用している下記サービスの FQDN [対象サービス]：インフィニット LB、CDN ^{*2} 登録レコードが CNAME の場合、一般的な名前解決処理の結果選ばれた 1 つの IP アドレスがヘルスチェック対象となります。
	方法 (タイプ)		http/https/TCP(port 番号)
	間隔		5-300 秒 (初期値：30 秒)
	タイムアウト		2-10 秒 (初期値：5 秒)
	判断基準	正常	・http/https：ステータスコード 100 番台、200 番台、300 番台 ・TCP(port 番号)：SYN/ACK が返答されてくること
		異常	失敗回数 3-10 回 (初期値：5 回) ※全拠点の過半数で、ヘルスチェックの失敗が連続して本設定回数に達した場合、異常と判断します。
		復旧	1 分に 1 度復旧を自動確認。稼働中の全拠点において 2 回連続で成功した場合復旧と判断します。 ※復旧後の動作は以下となります ・自動有効化：復旧判断後に自動的に振り分け対象レコードを切り戻し ・手動有効化：復旧判断後に手動で振り分け対象レコードを切り戻し
	通知トリガー		・ヘルスチェック失敗により異常判定となった時 ・ヘルスチェック復旧時 (自動有効化) ・ヘルスチェック復旧時 (手動有効化)
	通知方法	メール	登録された E メールアドレスに通知を送信
		Slack	Slack の Webhook URL に通知を送信
通知単位	通知グループ	・メール及び Slack の通知方法が登録可能 ・登録レコード毎に設定可能 ・登録上限数は 100 件、通知グループに登録可能な通知先 (通知方法) は 100 件まで設定可能	

*1: ヘルスチェック機能は DNS ゾーンが認証済みである事と、重み付け機能のご利用が必須となります。

*2: ヘルスチェック対象の CDN 利用ドメインは、独自ドメインのみ指定可能となります。

2.3 操作ログ

Web 管理画面（コントロールパネル）から、以下項目の確認を行うことができます。

項目	種別	内容*1
日時	—	操作した日時
対象	DNS	ゾーン (zone)、テンプレート (template)、逆引き (ptr) レコード (record)、テンプレート内のレコード (template_record)
	GSLB	ヘルスチェック対象レコード (healthcheck)
操作	DNS	作成 (create)、更新 (update)、インポート (import)、削除 (delete)、ゾーン認証 (verify)、デフォルト (初期値) への変更 (reset) *2
	GSLB	ヘルスチェック初回成功時 (first_check)、復旧 自動有効化 (auto_failback)、自動切り替え (failover) 復旧 手動有効化 (resolve)、手動有効化完了 (manual failback)
ユーザー	—	操作したユーザー名
名称	—	作成、更新、削除のあった対象ゾーン・レコード・テンプレート・IP アドレスの名称

*1: 操作毎の詳細な操作ログは CSV 形式でのダウンロードも可能です。

*2: 逆引きでのみ使用します。

2.4 API

ゾーン、レコード、テンプレート情報の作成・更新・削除・情報一覧の取得などを、コントロールパネルを使用せずに外部プログラムから API 経由で DNS/GSLB を柔軟にコントロールできます。

API リファレンス: https://www.idcf.jp/api-docs/apis/?id=docs_dns_reference-v1

2.5 操作権限

Web 管理画面（コントロールパネル）から、以下の操作を行うことができます。

項目	対象	マスターユーザー (Master User)	パワーユーザー (Power User)	ユーザー (User)	ビルディングユーザー (Billing User)
申込	—	○	—	—	—
追加*1・削除・変更	通知グループ 通知サービス名	○	—	—	—
	ゾーン/レコード テンプレート 逆引き	○	○	—	—
認証・Export	ゾーン	○	○	—	—
操作ログ	操作履歴 変更履歴 全ユーザーログ	○	○	—	—
情報表示	ゾーン レコード 逆引き テンプレート	○	○	○	—
	利用明細	○	○	○	○

*1: レコード追加にはバルクインポートも含まれます。

3 サービス保守運用

3.1 カスタマーサポート

お客さまからのお問い合わせは、すべて本サービスのポータルサイトから受け付けます。その他の手段（電話による口頭の依頼、メール、または FAX 等）によるご依頼は受け付けていません。ただし、プレミアムサポート(有償)をご契約の場合のみ、お電話でのサポートが可能となります。

項目	媒体	受付時間	対応時間
サービス お問い合わせ*1	ポータルサイト	24 時間 365 日	平日 9:00~17:00
	プレミアムサポート*3	平日 9:00~17:00	平日 9:00~17:00
	メール	受け付けていません	
障害連絡受付 および その対応*2	ポータルサイト	24 時間 365 日	24 時間 365 日*4
	プレミアムサポート*3	平日 9:00~17:00	平日 9:00~17:00
	メール	受け付けていません	

*1: サービス問い合わせに関しましては、土日・祝日、当社指定の休業日を除きます。

*2: 当社が障害を検知した場合は、指定された連絡先にメール、電話、当社所定のポータルサイトのいずれかで通知を行います。

*3: クラウドポータルからプレミアムサポート（別途有償）をご契約いただいた場合にのみ標準サポートに加え電話でのお問い合わせが出来ます。電話によるお問い合わせはアカウント毎に発行された PIN コードを用い、本人確認を行います。

*4: 当社がお客様に影響を及ぼさない事象と判断した場合を除きます。

※お問い合わせや障害連絡受付の応答時間および解決時間は、当該事象のセビリティ（深刻度）等に応じて異なる場合があります。また、当社は当該事象の解決のために商業的に妥当と思われる努力を行います。あらかじめ特定の時間内に完了することを保証するものではありません。

3.2 障害通知及びメンテナンス情報

当サービスに関する障害情報及びメンテナンス情報の通知は以下の通りです。

カテゴリ	通知方法
障害情報	当社 IDC F クラウドポータル画面にてお知らせいたします。
メンテナンス情報	

4 契約条件

4.1 サービスご利用条件

本サービスは、以下の契約書類に定めるご利用条件に従い、お客様に提供されます。

契約名	契約書類
本サービス利用契約	「クラウドサービスに関する契約約款」及び当社が定める各種規程にご同意いただくこと。

4.2 契約の単位

本サービスは、以下を 1 契約とします。

項目	内容
DNS	1 ゾーン
GSLB	1 レコード

4.3 最低利用期間及び契約期間

本サービスの最低利用期間及び契約期間は、以下の通りです。

項目	内容
契約期間及び 最低利用期間	本サービスの利用契約は、期限の定めはなく、「4.4 解約」に従って本サービスの利用契約を終了させることができます。本サービスについて最低利用期間はありません。

4.4 解約

お客様は、いつでも本サービスに係る当社所定のウェブサイトから本サービス利用契約を即時に解約することができます。月中でサービスを終了させることは可能ですが、その場合でも本サービス利用契約は月末解約となり、月額料金は日割りされません。DNS ゾーン情報削除後は使用することができませんので予めご了承ください。

4.5 SLA (Service Level Agreement: 品質保証制度)

本サービスは SLA 対象外となります。

4.6 ご利用上の制限及び注意事項

「クラウドサービスに関する契約約款」に定めるほか、本サービスに関して以下の制限事項および注意事項があります。

- 本サービスには参照用 DNS サーバー（フルサービスリゾルバ）及びドメイン名の管理サービスは含まれません。
- セカンダリ DNS の提供は対象外となります。
- 1 ゾーンあたりのクエリ数の指標値は 300 万/月とさせていただきます。常時多量のクエリが発生するお客様に対しては、事前予告無く通信を制限させていただく場合があります。
- ヘルスチェックサーバーから重み付け対象のサーバーへのアクセス許可設定をお願いします。またヘルスチェックサーバーの IP アドレスは将来的に事前予告なく変更の可能性があります。

4.7 免責事項

「クラウドサービスに関する契約約款」およびサービス申込み時に提示されるもののほか、本サービスに関して、以下の免責事項があります。

- 本サービスの利用により、顧客が登録したデータの改竄、削除、滅失、消去等により生じた損害及びお客様の逸失利益については、当社は一切その賠償責任を負わないものとします。
- サーバー上に設置される顧客が作成したコンテンツ、プログラムの動作により生じた損害に対しても、当社は一切その賠償責任を負わないものとします。

4.8 その他

本サービス仕様書の記載事項及び本サービス仕様書に記載がない事項については、サービス約款及びサービス申込書の各条項及び各規定が優先的に適用されます。

IDCF クラウド DNS/GSLB (別紙 1)レコード情報一覧

		レコード種別									
		A	AAAA	CNAME ^{*1,*2}	ALIAS ^{*1,*2}	MX ^{*1,*3,*4}	TXT	NS ^{*1}	CAA ^{*1}	PTR ^{*1,*3}	SRV ^{*1,*4}
レコード名	使用可能文字	半角英数字 (a~z, 0~9)、ハイフン (-) ドット (.) アンダースコア (_) ^{*5}								IDCF クラウドで割り当てられているグローバル IP アドレス	半角英数字、ドット (.)、アンダースコア (_) フォーマット： _[service]._[prot]
	使用可能な特殊記号	ワイルドカード(*) ホスト名空白(@)	ワイルドカード (*)	ワイルドカード(*) ホスト名空白(@)			—	ワイルドカード (*)	—	—	
	文字数	1 文字以上 63 文字以内									[service][prot]がそれぞれ (_)を含んで 2 文字以上 63 文字以内
TTL		600~86400 ^{*6}								3600	600-86400
設定値	使用可能文字	半角数字 (0~9)、ドット (.) ※使用可能な IPv4 アドレス	半角英数字 (a~f, 0~9)、コロン (:) ※使用可能な IPv6 アドレス	半角英数字 (a~z, 0~9)、ドット (.)、ハイフン (-)			半角英数字 (a~z, 0~9)、半角記号、半角スペース	半角英数字 (a~z, 0~9)、ドット (.)、ハイフン (-)	半角英数字 (a~z, 0~9)、ドット (.)、ハイフン (-) ^{*8}	半角英数字 (a~z, 0~9)、ドット (.)、ハイフン (-) ウェイト、ポート、ホストのフォーマット： [weight] [port] [host]	
	文字数	—	—	253 文字以内			1024 文字以内 ^{*9}	—	253 文字以内	255 文字以内	
優先度		—			0-65535		—			0-65535	
ウェイト、ポート番号		—			—		—			0-65535	

- *1: 設定値最後尾のドット (.) は登録できません。
- *2: CNAME レコードや ALIAS レコードは同じレコード名に対して 1 つの設定値しか登録できません。
- *3: CNAME レコードのレコード名は指定できません。
- *4: A レコードや AAAA レコードが設定されている必要があります。
- *5: アンダースコア (_) は CNAME、TXT、NS レコードでのみ使用可能です。
- *6: GSLB 利用レコードのみ 5~86400 の値を設定可能です。
- *7: NS レコードでは RFC2606 で予約されているトップレベルドメイン、*.local、IDCF クラウド DNS の権威 DNS、*.dns-verify.idc.jp は登録できません。
- *8: 同一アカウント内の IDCF クラウドで割り当てられている IP アドレスの逆引きのみ変更可能です。また逆引き設定変更後にポータル上で「デフォルト」ボタンを押した場合は即時、IDCF クラウドの IP アドレスを解放した場合は、最大 20 分程度でデフォルト (初期値) に変更されます。
- *9: ダブルクォーテーションで囲んだ文字列は最大 255 文字です。半角スペースで連結でき、半角スペースとダブルクォーテーションも含み全体で最大 1024 文字です。